

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

|       |                       |                 |                             |
|-------|-----------------------|-----------------|-----------------------------|
| 課題番号  | 17108004              | 研究期間            | 平成17年度～平成21年度               |
| 研究課題名 | 妊娠中毒症における母胎間ネットワークの解明 | 研究代表者<br>(所属・職) | 深水 昭吉（筑波大学・大学院生命環境科学研究科・教授） |

【平成20年度 研究進捗評価結果】

| 評価   | 評価基準 |  |
|--|------|--|
|  | A+   | 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる                 |
| ○  | A    | 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる            |
|  | B    | 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である                 |
|  | C    | 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である |
| <p>(意見等)</p> <p>当初計画に挙げた3つの課題に対して、問題点を明確にし、妊娠中毒症モデルマウスを有効に活用することによって、それぞれの問題点を着実に解決し高い成果をあげている。またマイクロアレイと組み合わせた生体内における生理機能解析法の確立や APJ 受容体に対するリガンドの探索など今後の発展に必要なツールも揃えており、今後も発展が期待できる。質の高い雑誌にも複数掲載されており積極的な公表にもよく務めている。臨床的に重要な課題であるので、今後は関連領域の研究者とも連携して臨床応用を視野に入れた研究の進展を期待する。</p> |      |  |

【平成22年度 検証結果】

|                       |
|-----------------------|
| 研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。 |
|-----------------------|